

ゆうき市議会だより

第177号

平成26年11月1日



第3回定例会

9月10日～9月26日

平成26年結城市議会第3回定例会は、9月10日に招集され、26日までの17日間にわたって開かれました。

初日には、平成26年度の各会計補正予算等議案12件、平成25年度各会計決算の認定2件の市長提出案件14件、請願5件が上程されました。

また、平成25年度の各会計の決算認定については、議員全員で構成される決算特別委員会（委員長に大木作次議員、副委員長に黒川充夫議員）を設置し、審査が付託され、その他の案件については、各常任委員会に審査が付託されました。

会期中には、一般質問の2日間をはじめ、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会ごとに審査が行われ、決算特別委員会については、3日間にわたって審査が行われました。

最終日には、各常任委員会や決算特別委員会へ付託されていた案件の審査報告が行われました。なお、最終日の審査結果については、請願5件が不採択となり、その他の案件については、原案のとおり可決されました。

《請願について》

第3回定例会で審査された請願の結果は、次のとおりです。

不採択となったもの

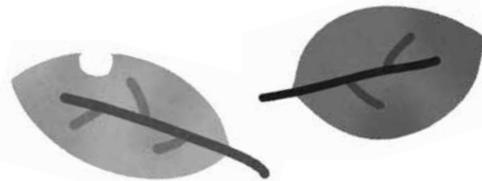
○「県立学校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書提出」に関する請願

○政府による緊急の過剰米処理を求める請願

○農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願

○特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書の提出を求める請願

○集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の無効を求める意見書の提出を求める請願



第3回定例会における議案の審議結果一覧

議案番号	議案名	結果
議案第47号	平成26年度結城市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第48号	平成26年度結城市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第49号	平成26年度結城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第50号	平成26年度結城市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第51号	平成26年度下館・結城都市計画事業結城南第三土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第52号	平成26年度下館・結城都市計画事業結城南第四土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第53号	平成26年度結城市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第54号	結城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について	可決
議案第55号	結城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について	可決
議案第56号	結城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	可決
議案第57号	結城市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第58号	結城市就学指導委員会条例の一部を改正する条例について	可決
認定第1号	平成25年度結城市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	平成25年度結城市水道事業会計決算の認定について	認定

写真で見る平成25年度主な施策成果

名称 市PR事業

事業内容

本市の知名度とイメージの向上を目指し、近隣都市や首都圏でパンフレットの配布や機織りの実演を行うとともに、「まゆげった」を活用したPR活動を行った。

また、本市の持つ資源をPRに活かし、地域の活性化を図るため「結城ブランド」の商品認定を行い、発表会を開催した。

- ・近隣都市PR活動
(筑西市、笠間市、つくば市、土浦市、守谷市ほか)
- ・首都圏PR活動 (JR上野駅、羽生市)
- ・結城ブランド認定品14品
- ・結城ブランド認定品発表会開催



成果

本市の魅力を多くの都市でPRすることができ、知名度とイメージの向上が図られた。また、結城ブランドの商品として14品が認定され、市のPRに同商品を活用できるようになった。



名称

交通安全施設整備事業

事業内容

道路反射鏡、区画線、路面標示等の道路施設を設置及び補修した。

- ・交通安全道路施設整備工事
道路反射鏡 25基 区画線設置 288m
警戒標識設置 5箇所 路側帯カラー舗装 212㎡
交差点カラー舗装 84㎡
イメージハンブ設置 3箇所
路面標示 (通学路注意、
スクールゾーン 等) 10箇所

成果

交通安全施設を整備することにより、交通事故防止等住民の交通安全に寄与した。

名称

紬のふるさと体験授業推進事業

事業内容

郷土のよさを再認識させるため、市の誇れる優れた地場産物を扱った授業を実施した。

成果

結城紬の着心地体験を全中学校で実施し、伝統産業の素晴らしさを再認識することで、郷土愛の育成を図ることができた。





稲葉 里子 議員

小山市との友好都市盟約の締結について

現状の連携事業と今後連携可能な事業・制度について

市長公室長 友好都市として盟約する大きな理由の一つが本場結城紬だ。現在は、団体を通じた連携だが、今後は行政が直接連携して事業を行うことも検討する。土木関係では、道路整備促進協議会を組織し、円滑な整備が行えるよう連携をしている。環境関係では、両市の関係課が連携している。図書館の相互利用では、平成20年から小山市中央図書館を結城市民も利用できるようになった。今後の可能性としては、まずは「公共施設の相互利用の検討」だ。さらに両市のスポーツ大会への選手の相互派遣等、相互のイベントにおけるブース出展、フィルムコミッションの連携も考えられる。また、両市民活動団体の情報を共有するこ

とで、市民活動の活性化や参加者の拡大、協働事業への発展等も期待できる。この他、短期または中長期で連携できる事業等を分類し、順次協議を進めていきたい。

学童保育の充実について

学童保育の環境整備について

市長 よりよい環境を整えていく必要がある。結城小学校については、今後数年の入学予定児童数を考慮すると、学校の余裕教室を有効利用することで対応できると考えている。結城西小学校については、区画整理により児童数の増加が見込まれることから、余裕教室での対応は難しいため、城南小学校や城西小学校と同様に、専用施設の設置に向けて教育委員会や関係機関と調整することを検討している。

通学路の歩道整備事業について

結城小学校（大町）通学路の歩道整備について

市長 大町通学路は、結城小学校近辺でもあり通学児童も多く、県道結城二宮線の交通量も非常に多い。歩道整備の重要性を十分承知している。併せて整備を進めている市道交差点部についても、朝の交通量が特に多いため、整備の必要性を認識している。今後、一日も早く歩道整備が完了するよう事業を推進していく。



佐藤 仁 議員

魅力あるふるさと納税制度に！

ふるさと納税制度は生まれ育った“ふるさと”のみならず、“第二のふるさと”や“心のふるさと”へ納税する制度です。魅力ある納税制度へとすることにより「ふるさと結城」応援団を増やし、魅力をPRする制度へ

市長 本市では、これまで返礼品を贈呈しておりませんでした。今年度の当初予算で結城ブランド品を贈呈する経費を計上し、寄附をされた方へ感謝の意を形で表すことといたしました。また、寄附者への感謝の気持ちと併せて特産品のPRにもなりますので、今後は、寄附の額に応じた返礼品を贈るなど、検討を加えてまいります。



スポーツによる健康増進と新しい公共を！

スポーツは、心身の健康の保持増進を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現と、スポーツを核としたコミュニティづくりに欠かせない役割を果たします。そこで、今後の、健康増進面、スポーツツーリズム、サイクリングを活かした環境整備、そしてトップスポーツとの好循環等の取り組みについて

市長 スポーツの振興は、これまでも増して重要な意味をもってまいります。国は、新しい公共を、人々の支え合いと活気のある社会をつくることに向けたさまざまな当事者の自発的な協働の場としています。総合型地域スポーツクラブは、その新しい公共を具現化したものであり、地域住民が主体的にスポーツ環境を形成することが期待されております。結城市総合型地域スポーツクラブが、本市のスポーツ振興と、新たな地域コミュニティづくりの担い手、そして新しい公共の中核となることを期待しています。サイクリングロードに関しては、小山市の西仁連川はよくできていますのでそちらをよく見て、考えていきたいと思っております。





立川 博敏 議員

複雑化する消費者トラブルから市民を守れ!

複雑化する消費生活トラブルに対する消費生活センターの機能強化の必要性についてどう考えているか?

産業経済部長 最近では消費生活トラブルも複雑化しており、相談業務に携わる相談員も、高度な知識と能力が要求されている。国や県が開催する研修等にも積極的に参加し、相談員のスキルアップや情報収集に努め、消費生活センター機能の強化を図っていきたい。昨年11月には、振り込め詐欺被害防止を目的として結城地区防犯協会長（市長）より、消費生活センターをはじめ、結城地区防犯協会各支部や結城市民生委員児童委員協議会など14団体が「振り込め詐欺防止アドバイザー」に委嘱されており、今後も関係機関や警察との更なる連携を図っていく。

多問題家族の早期解決にどう取り組む？

当市の多問題家族の傾向はどのような状況か？

保健福祉部長 本人や家族から直接相談がある場合の他、近所・友人・民生委員など地域から、学校・幼稚園・保育園などの教育・保育機関から、保健所・児童相談所・警察など公的機関からなど、さまざまな経路で市に相談が寄せられている。内容は生活困窮、身体・知的・精神障害、親の介護、虐待、DV、いじめ、不登校等の複数の問題が複雑に重なり、対応を多元的に行わなければならない相談が多くなっている。

当市の多問題家族に対する取り組みや、複数担当課による横断的な対応をどのような体制で臨んでいるか

保健福祉部長 最初は相談を受けた部署が対応するが、複合的な問題を抱える家庭からの相談の場合には、相談された内容の奥に隠れている問題も把握しながら、庁内関係各課・学校・保育所・医療機関・保健所・児童相談所・警察・民生委員等と連携をとり、速やかに個別ケース検討会議を開催し、情報を共有し対応方法を協議することにより、本人や家族が望んでいる安心して充実した生活ができるよう問題の解決に向けて支援を行っている。



大橋 康則 議員

市民力を活かし協働で進める地方自治を！

これからの地方自治体が目指す地方自治の進め方の答えは協働のまちづくりの実践の他にはありません。結城市も地域ブランドが育っていれば政策としてブランド創生など掲げませんし、観光資源が豊富なら苦労しません。おそらく絶対的強みがないと考えますが本市の最大の強みは市民であり、市民力地域力を活性化させることが重要であると考えます。市民とは地域に住む住民だけでなく、在勤している方など交流市民を含めた様々な視点を公共の一部でなく主体として捉え、結城市らしい地方自治を進めて頂きたい

市長公室長 平成25年度に「第4次結城市行政改革大綱」を策定し「自立した財政運営の構造づくり」、 「社会環境の変化に対応できる組織・人材づくり」、

「市民と行政がともに支え合う体制づくり」の3項目を基本方針とし、従来からの財政健全化に関する取り組みに併せて、市職員の人材育成と、協働による市政の推進に重点を置いた改革を実施することで、行政の質と効率を向上させるとともに、まちの特色と独自性を活かしながら、市民と協働してまちづくりを行う体制づくりを推進している。

市長 地方分権が進展する中、持続可能なまちづくりを推進するため、住民参画協働型の行政システムを確立していく必要があります。平成25年4月に「市民活動支援センター」を開設し、各種ボランティア団体、NPO、まちづくり団体、女性団体など、市民の方々の様々な活動を支援しており、その活動によるパワーは、本市のまちづくりに欠くことのできないものとなっています。このように、協働で進める持続可能なまちの実現を目指していく中で、市民と共に、地域の特性を活かした「小さくてもキラリと光るまちづくり」を推進してまいりたいと考えています。





平塚 明 議員

新交通デマンドタクシーの検討について

これまで新交通システムの一つとして自宅から目的地まで利用できるデマンドタクシーの導入について提案してきました。この一般質問を行うにあたりデマンドタクシーを導入している鳩山町を視察した。町民の利用者に大変便利だと喜ばれている。政府も乗合型タクシーの導入を2002年までに700市町村を目標にしているので、結城市も導入すべきである

市長公室長 デマンド型交通の導入に関しては、国が創設する助成制度を熟慮して判断していきたい。



▲鳩山町のデマンドタクシー

市内各地区の地域格差是正のための市政運営を

市政60周年を迎えても、南部農村では舗装道路の崩れや、雨が降れば道路が雨水であふれるなど、ひどいところがある。どこに住んでも誇れる街づくりの市政運営を目指すべきである

都市建設部長 市道舗装補修事業費は23年からの3年間で、結城49.4%、絹川13.9%、上山川9.4%、山川14.5%、江川12.8%である。整備が追い付かない状況で、地域の状況を把握して事業に反映してまいりたい。

地方の人口減少、結城市の人口推移について

出生率が1.35で推移した場合、日本の人口は2050年には9,700万人になってしまう。結城市の人口の推移を各地区ごとにお尋ねしたい

市長公室長 各地区平成16年と26年の比較で、結城地区33,526人から33,923人で1.2%の増。絹川地区4,649人から4,158人で10.6%の減。上山川地区3,705人から3,316人で10.5%の減。山川地区4,407人から3,788人で14%の減。江川地区6,556人から5,739人で12.5%の減。農村地区の人口減少を抑制する施策が必要と考える。



黒川 充夫 議員

人口減少時代への対応について

2040年問題の人口減少をどのように認識し、今後どのような「まちづくり」を目指していくのか

市長 本市の状況としては、1年間の人口の減少が百数十人と僅かなものに留まっている。要因としては、区画整理事業による都市基盤整備と、子育て支援の推進による効果が表れたものと考えている。今後も、これらの事業の一層の推進を図り、住みよいまちづくりをさらに進めてまいりたい。



に関する目標設定と公表が求められておりますが、今後の取り組みについて伺いたい

市民生活部長 水循環と雨水活用については、当該法律の内容をよく確認するとともに、関係各課と連携を図り、実施内容に関する事項を精査しながら、推進してまいりたい。雨水タンクの普及については、環境にやさしい街づくり推進のためにも、各家庭で活用していただくよう、PR等に努めてまいります。

動物愛護問題について

県主催の「動物ふれあい教室」は、命の大切さを学ぶ情操教育で、いじめ問題への糸口に繋がるのでは

教育長 小さい頃から、動物に関心を持ち、親しみをもって接することで、命の大切さを認識させることは大変重要である。動物とのふれあいを通して、命を大切にする心や思いやりの心を育むことは、いじめ問題の解消につながる。「動物ふれあい教室」の活用も含め、子どもたちの発達段階に応じて、動物とふれあう活動を取り入れ、動物愛護の精神を育むよう努める。

他に、消費者教育の充実についての質問を行いました。

雨水の利用促進について

地方公共団体は、自らの雨水利用のための施設設置



平 陽子 議員

国土強靱化政策と公共事業について

2014年度、国の国土強靱化予算合計額3.3兆円のうち2.8兆円（84%）が公共事業関係費、中心は耐震化と老朽対策です。当市の公共事業にはどのような影響があるのか伺いました

市長公室長 国土強靱化予算は、防災・安全交付金事業予算が2億8,768万1千円で橋梁の老朽化対策、通学路安全対策、道路改良工事、下水浄化センター老朽化対策などの事業、1億7,490万円が学校施設耐震化推進事業の予算となっています。

防災のまちづくりについて

近年の異常気象で想定外の被害が全国各地で起こっています。これからは地域の住民が地域の危険個所を

把握していることが重要と思います。地域版ハザードマップの必要性について伺いました

市民生活部長 内水ハザードマップについては、近年、全国で起きている大雨などによる被害状況を踏まえ調整を図りたい。地域版ハザードマップは自主防災組織の結成を促進しつつ、併せて推進してまいります。

地域交通について

高齢者や障害者が自由に移動できれば、社会の一員となり、自分で通院、就労と社会全体に利益をもたらします。地域交通のこれからの取り組みについて

保健福祉部長 元気な高齢者の地域交通の確保も重要であると考え、現在稼働中の巡回バスを充実することが重要と考え、バスの増車を検討してまいります。

耐震支援について

1981年5月31日以前に建築された住宅のほとんどは耐震がありません。改修工事支援制度はどうなっているのでしょうか

都市建設部長 耐震化を行いやすい環境の整備や、負担軽減を図るために、引き続き木造住宅に対する支援を行ってまいります。



早瀬 悦弘 議員

消防団の現状と団員確保の取り組みについて

今後の大規模地震等も考慮すると、消防団を中心とする地域の総合防災力の強化が必要であり、消防団がリーダー役を果たしながら『自分達のまちは自分達で守る』郷土愛護の精神に基づき、市民の安心・安全のため、減少傾向の団員確保に、何らかの特典が得られる様にと考えますが、当市の現状と団員確保について伺います

市民生活部長 団員数が年々減少傾向にあり、全消防団員における会社員の割合が多くなっており、平日の日中火災の際に出動に必要な人員が揃わず、活動に支障をきたし兼ねない分団もあります。議員ご提案の消防団員になると団員のみならず団員のご家族も

含め、何らかの特典が受けられるような制度の導入については、近隣市の動向を見守りながら、調査研究を進めてまいりたいと考えております。

本場結城紬のPRについて

ユネスコ無形文化遺産に登録されてから、4年目になりますが、産地としての市の知名度の向上・結城紬の着物着用の推進やPRについて伺います

産業経済部長 結城紬と市の知名度を向上させ、魅力を広くPRするため、広澤克実さんや宮本貴奈さんをはじめ8名の方に「結城紬大使」となって頂いたり、市内全中学校の2年生を対象に結城紬を着てもらい、着心地や肌触りを体験してもらう「紬のふるさと体験授業」を行ったり、本市の観光資源である結城紬と歴史的な街並みをマッチングさせた観光イベントの「きものday結城」等、皆様に結城紬に触れられる機会を提供したり、結城紬ビデオを作成し、市内の観光関連施設やキャンペーン時に放映し、PRを推進してまいります。

他に、人口減少社会についての質問を行いました。

委員会活動

総務委員会

総務委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、9月16日に開催されました。午前中に、土砂災害（特別）警戒区域【七五三場地内】の現地調査を行いました。この区域は平成21年3月に茨城県より警戒区域の指定を受けたため、土砂災害情報の伝達・避難の体制を整備し、毎年防災訓練を行っているとの説明を受けました。午後の審査では、本委員会に付託されました平成26年度結城市一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項分の議案1件と請願2件について審査されました。審査の結果、付託されました議案1件は原案のとおり可決されました。また、「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書の提出を求める請願」「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の無効を求める意見書の提出を求める請願」について、及び、継続審査となっていた「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書の提出を求める請願」についても全員一致で不採択となりました。



▲土砂災害（特別）警戒区域【七五三場地内】

産業・建設委員会

産業・建設委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、9月17日に開催されました。午前中に、JA北つくばの関連施設であるトマト選果場と市施設の下水浄化センターへ現地視察を行いました。JA北つくばの選果場は、現在稼働中の選果場における借地利用の契約期間が間もなく満了になることに併せて、産地育成を図るため、高度な機能を持った選果場を新たに設置する予定です。視察では、現在稼働している選果場の作業現場と新しく建設される選果場の予定地を確認しました。午後の審査では、本委員会に付託されました平成26年度結城市一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項分など議案4件と請願2件について審査されました。審査の結果、付託された議案4件についてはすべて原案のとおり可決されました。また、「政府による緊急の過剰米処理を求める請願」「農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願」については、全員一致で不採択となりました。



▲現在のトマト選果場（JA北つくば管内）

教育・福祉委員会

教育・福祉委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、9月18日に開催されました。午前中に結城西小学校において小学校英語活動推進事業（L.E.E）、小学校施設耐震補強事業等を現地調査して参りました。小学校英語活動推進事業（L.E.E）は、平成26年度の新規事業であり他市に先駆けて結城市が取り組んでいる事業です。当日は、英語授業専用教室のイングリッシュルームで学ぶ4年生の授業を見学しました。世界の国旗やハロウィンの飾りのされた教室で、子供たちが積極的に学ぶ姿がとても印象的でした。審査は、本委員会に付託された平成26年度結城市一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項分など議案9件、及び「県立学校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書提出」に関する請願1件について質疑があり、議案はすべて原案のとおり可決いたしました。また、請願につきましては、賛成少数により不採択となりました。



▲L.E.Eの授業風景

◆各委員会の構成◆

大橋康則議員の辞職に伴い、総務委員会と議会情報推進委員会の構成がかわりました。

総務委員会

- 委員長
- 副委員長

(5名)

- ◎黒川 充夫
- 平塚 明
- 池田 二男
- 中田 松雄
- 船橋 清

議会情報推進委員会

(5名)

- ◎船橋 清
- 大木 作次
- 佐藤 仁
- 立川 博敏
- 平塚 明

市議会を傍聴してみませんか!

受付で住所、氏名などを記入するだけで簡単に傍聴できます。但し、傍聴席では、写真撮影や録音などは禁止となっています。次の定例会は、12月10日からの予定です。

詳しいことは、議会事務局まで

電話 0296-32-1111 内線 304・305

栃木県小山市と 友好都市盟約を締結

10月2日、栃木県小山市内にて、友好都市盟約書の調印が行われ、結城市議会の議員全員が本場結城紬の着物姿で出席しました。今後は、ユネスコ無形文化遺産の本場結城紬の二層の振興を図るだけでなく、産業、教育、医療など広い分野での交流を目指していきます。



▲盟約書の調印に臨む船橋議長



▲調印式に参加した両市の議員及び執行部等関係者

結城市議会 行政視察報告

産業・建設委員会

期 日 8月4日
 調査地 茨城県笠間市
 茨城県石岡市
 目 的 「地酒を笠間焼で乾杯する条例」について
 「『石岡の地酒』で乾杯を推進する条例」について



議会運営委員会

期 日 8月27日～29日
 調査地 北海道旭川市
 北海道稚内市
 目 的 市民と議会の意見交換会について
 議会映像配信について
 フェイスブックについて



第7回 結城市子ども議会が開かれました



▲議場での集合写真

◆8月8日
 市内小学校9校の子ども議員（18名）に委
 嘱状が交付され、緊張した面持ちの中、議員
 バッチを胸に着け、議場での本会議に臨みま
 した。本会議では一般質問を通して、子ども
 議員から市役所で行っている仕事の広い範囲
 にわたる質問がなされ、市長や関係部長によ
 り答弁が行われました。全員の質問終了後
 は、市制60周年記念事業の一環として「結城
 市子ども議会・よい子の宣言」が朗読されま
 した。

学校名	子ども議員氏名	発言事項（件名）	答弁者
江川北小	坂入 幹	大地震への対応について	市民生活部長
結城小	齋藤 彩乃	市の発展のための計画について	市長公室長
結城西小	穴戸承太郎	土地利用の未来計画について	都市建設部長
江川北小	森 愛子	小学校の英語活動について	教育長
結城小	藤貫 青空	茨城国体への対応について	教育部長
結城西小	熊谷 優希	市の将来人口について	市長公室長
上山川小	須藤 文瑠	募金活動について	保健福祉部長
城西小	大森 初夏	小学生同士の交流について	教育部長
上山川小	菊地 清華	特産品カレンダーについて	産業経済部長
城西小	叶賀 嵩人	結城市の町おこしについて	産業経済部長
山川小	山中 響	市の少子化対策について	保健福祉部長
江川南小	坂入 友太	結城市の洪水対策について	市民生活部長
城南小	神永 向星	通学路の安全対策について	都市建設部長
絹川小	濱野 初華	結城軸について	産業経済部長
山川小	渡邊 実月	お年寄りが住みよいまちづくりについて	保健福祉部長
江川南小	川面 真夢	市民プールの建設について	都市建設部長
城南小	荒井 珠花	交番を作る計画について	市長公室長
絹川小	柳田 拓夢	ヘルメットの着用について	教育部長

▲質問一覧表



▲議員バッチを胸に着ける



▲議員代表によるよい子の宣言

第1回臨時会

平成26年結城市議会第1回臨時会が7月22日に招集されました。この臨時会は、会期を1日と定め、市長提出案件2件が上程され、原案のとおり可決されました。

◆工事請負契約の締結について

◆結城市固定資産評価審査委員会の委員の選任について

結城市固定資産評価審査委員の選任に同意しました。

関 仁 一 氏

平成26年 第4回定例会のお知らせ

結城市議会 次回定例会の開催予定

12月	10日	本会議（開会）
	11日・12日	一般質問
	15日	代表質問
	16日・17日・18日	常任委員会
	22日	本会議（閉会）

（日程が変更になる場合もあります。）

★議会日誌

《7月》

22日 第1回臨時会・全員協議会

《8月》

4日 産業・建設委員会行政視察

8日 子ども議会

21日 全員協議会

27日 議会運営委員会行政視察

《9月》

2日 議会運営委員会

10日 第3回定例会

（第3回定例会日程に掲載）

《10月》

10日 議会情報推進委員会

2日 結城市小山市友好都市盟約書調印式

7日 総務委員会行政視察

8日 産業・建設委員会行政視察

14日 議会情報推進委員会

15日 教育・福祉委員会行政視察

20日 全員協議会

★編集後記

去る10月7日、スウェーデン王立科学アカデミーは、2014年のノーベル物理学賞に青色発光ダイオード（LED）を開発した赤崎勇・天野浩・中村修二の3氏に対して授与すると発表しました。

ノーベル賞の由来となるアルフレッド・ノーベル氏は、発明したダイナマイトが世界中で採掘や土木工事に使われるようになったことで、一躍世界の富豪の仲間入りを果たしました。しかし、その後ダイナマイトが武器・弾薬として使われ始めたことで、巨万の富を得たノーベルは批判の声を受けました。そこで、ノーベルは「人類のために貢献をした人」に対して、ノーベル賞を創設することを遺言状に残しました。

ノーベル賞に関しては、今回の青色発光ダイオードのように、既に商品として実用化され、販売されている分野の受賞は非常に珍しいとされています。

今回のノーベル物理学賞の受賞は、私たち日本人の誇りとして、決してあきらめる事無く、日々前進していきたいと思わせてくれました。

（情報推進委員）



★表紙によせて

8月8日に結城市役所3階の議場にて「第7回結城市子ども議会」が開催されました。

表紙では、議場での集合写真と市内小学校9校より選ばれた子ども議員全員の顔写真を掲載しました。

ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランテイアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎号、カセットテープ版の発行や対面朗読を行っています。

ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。